

山形 いぶき



YNA 夢・ナースング・愛

TOPICS

- ❖ 平成26年度通常総会特集号（別冊）
 - 通常総会の開催にあたって
 - 「訪問看護会館」建設進捗状況
 - 「まちの保健室」及び福島県警戒区域の視察



平成26年度会員数
(4月21日 現在)

保健師	384
助産師	343
看護師	6,056
准看護師	228
計	7,011

平成26年度「日本看護協会通常総会・職能別交流集会」

- 期日：平成26年6月10日(火)～12日(木)
- 場所：愛知県 日本ガイシホール 他

平成26年度「山形県看護協会通常総会並びに職能研修会」

- 期日：平成26年6月19日(木)
- 場所：山形県看護協会会館・看護研修センター 3階第1研修室 他

山形県看護協会ホームページ

<http://www.nurse-yamagata.or.jp>

県ホームページ「すまいる山形暮らし情報」
からもリンクできます。

山形県看護協会



機種によってはアクセス
できない場合があります



平成26年度 通常総会の開催にあたって



公益社団法人 山形県看護協会 会長 川村 良子

ここ東北の山形にも雪の季節から春の季節、そしてさわやかな新緑と木々の花々が美しい季節となりました。会員の皆さまには、新年度から早1か月半が過ぎ、保健・医療・福祉・在宅・教育の現場で保健師・助産師・看護師・准看護師としての役割を発揮されていることに、心より感謝申し上げます。

平成26年度山形県看護協会通常総会を迎えるにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

日頃より山形県看護協会活動に対するご支援とご協力に対し、深く感謝申し上げます。

また、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災から3年が経過致しましたが、まだまだ復興がなされていない状況に対し、隣の県の住民として決して忘れず、私たちは何ができるかを模索しながら、継続して支援をしていきたいと考えております。皆さまのご協力とご支援を宜しくお願い致します。

さて、山形県看護協会は、平成25年4月1日から「公益社団法人山形県看護協会」として、6つの訪問看護ステーション・3つの居宅介護支援事業所、4つの支部とともに新たなスタートをして1年が経過致しました。今回の通常総会は、公益社団法人として昨年度の事業内容と会計報告並びに平成26年度の事業内容と予算を皆さまにご報告し、承認を得る大切な機会です。多くの会員の方々のご出席をいただきご審議をいただければ有り難く思います。加えて、平成25年度の各事業が計画通りに実施できましたことに対し、会員はじめ関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

平成26年度は、平成26年10月2日・3日に日本看護学会一在宅看護一学術集会が、山形テルサを会場に当協会が担当で開催致します。そして、当会館東側駐車場に「訪問看護会館」が9月に新築完成されます。会員の皆さまには是非いらしていただければ有り難く思います。

また、今年度も通常総会閉会後は、各職能研修会を開催致します。看護師職能委員会ⅠとⅡは合同の研修会となりますが、各職能委員会で十分に検討・計画し、今年度は日本看護協会の常任理事の方々よりご講演をいただくことになりました。ぜひ多くの看護職の皆さま方にご参加をいただき、学びを深め、現場に活かしていただければ有り難く思います。

最後に、会員の皆さま、OBの皆さまはじめ関係諸団体の皆さまには、ご健勝をお祈り申し上げますとともに、今後とも当協会活動のご支援、ご協力をいただければ有り難く思います。

理事会報告

平成26年2月18日（火） 第9回理事会

- | | | |
|------------|---------------------------------------|--|
| 主な
審議事項 | 1.平成26年度山形県看護協会事業計画(案)について提案 | 3.平成26年度各支部の事業計画(案)、予算(案)について……………〈承認〉 |
| | 2.定款の一部改正並びに選挙規則の一部改正についての提案……………〈承認〉 | 4.山形県看護協会看護功労者表彰並びに感謝状贈呈候補者について……………〈承認〉 |

平成26年3月18日（火） 第10回理事会

- | | | |
|------------|---|--|
| 主な
審議事項 | 1.平成26年度山形県看護協会通常総会並びに
職能研修会プログラムについて……………〈承認〉 | 4.平成26年度山形県看護協会訪問看護ステーション及び
居宅介護支援事業所事業計画(案)……………〈承認〉 |
| | 2.平成26年度山形県看護協会重点事業(案)……………〈承認〉 | 5.平成26年度山形県看護協会収支予算(案)……………〈承認〉 |
| | 3.平成26年度山形県看護協会事業計画(案)……………〈承認〉 | |

平成26年5月1日（木） 第11回理事会

- | | | |
|------------|----------------------------------|--|
| 主な
審議事項 | 1.平成26年度山形県看護協会提出議題について……………〈承認〉 | 3.平成26年度山形県看護協会組織機能図(案)について……………〈承認〉 |
| | 2.平成25年度山形県看護協会事業報告について……………〈承認〉 | 4.平成26年度山形県看護協会各委員会の体制(案)について……………〈承認〉 |

平成26年1月～4月までの山形県看護協会事業実施状況

- | | |
|---------------------------------------|---|
| 平成26年1月14日(火)
～24日(金) 蔵書点検 | 平成26年3月11日(火) 平成26年度「看護の日」及び「看護週間」事業実行委員会 |
| 平成26年1月25日(土) 合同委員会及び支部長会議 | 平成26年3月13日(木) 福島県警戒区域(双葉町中心)の視察 |
| 平成26年1月30日(木) 看護職のWLB推進フォローアップワークショップ | 平成26年3月20日(木) 診療報酬改定説明会 |
| 平成26年2月 3日(月) 総務省山形行政評価事務所によるヒアリング | 平成26年4月10日(木) 新たな財政支援制度における対象事業に対する提案 |
| 平成26年2月 8日(土) 山形県看護協会訪問看護ステーション職員研修 | 平成26年4月21日(月) 日本看護学会打ち合わせ及び第1回抄録選考委員会 |
| 平成26年3月 8日(土) 山形県看護協会と山形県看護連盟との合同研修会 | 平成26年4月24日(木) 平成25年度山形県看護協会監査 |

栄ある受賞おめでとうございます

日本看護協会会長表彰

◆後藤富喜子（前三友堂看護専門学校副学校長）

◆大竹 久子（山形県看護協会常任理事）

「訪問看護会館」建設進捗状況

訪問看護総括理事 鈴木 郁子

私の執務室からは鉄骨をたたき音や会館の建設進行状況が目に見えるのでワクワクドキドキします。（ワクワクドキドキは何十年ぶりか？）

現在2週間に1回「会館建設工事総合定例会議」を協会、設計、施工者の三者で建設の進行管理を実施しています。

- 第1回 平成26年1月21日開催 2月3日より建物の位置出し 現場の囲い 仮事務所
- 第2回 平成26年2月12日開催 土砂のサンプリングで転石がたくさん出た（写真1）
- 第6回 平成26年4月 8日開催 立柱式（大安）鉄骨が建てられ建物が見えてきた（写真2・3）

現在建設工程は順調に進んでおり8月末には完成するでしょう。楽しみにしててください。



転石がゴロゴロと！（写真1）



立柱式（写真2）



建物が見えて！（写真3）

日本看護協会において、当協会の取り組みについて 3題の報告を行いました。

常任理事 大竹 久子

1.平成26年1月23日(木)

助産師出向支援モデル事業実施県合同報告会

モデル事業実施15都道府県看護協会の担当者による、平成25年度の取り組み状況の報告会が開催されました。当協会は、協議会の立ち上げ、分娩取扱い施設への調査と看護管理者情報交換会の開催、出向希望施設のマッチングプロセス等について報告をしました。平成25年度はマッチングに至らなかったことから、平成26年度は実現に向けて取り組みます。



2.平成26年1月31日(金)都道府県看護協会広報担当役員会議での

「行政と連携した広報活動」の報告

看護協会事業において、広報活動の重要性が拡大する中、効果的な広報活動についての理解と情報交換を目的に会議が開催されました。

今回は初めての開催で、事例報告では当協会と大阪府、鳥根県の三県の取り組みの発表でした。当協会は「行政と連携した広報活動」と題し、ナースセンター事業の広報について、マスメディアを積極的に活用し、効果を上げていることの発表を行いました。



3.平成26年2月21日(金)平成25年度第2回WLB地域推進連絡協議会での

「看護職のWLB推進ワークショップ事業山形県看護協会の取り組み」の報告

平成25年度にワークショップ事業をスタートさせた11県と2年目に取り組んでいる2県からの報告でした。どこの県も創意工夫をしながらの取り組みで、参加病院より多くの成果が報告されていることを確認し合う場となりました。当協会では、平成26年度は新たに2病院の参加があり、9月11・12日のワークショップは8病院が取り組むことになっています。



福島県外避難者の心のケア事業としての「まちの保健室」の開催と福島県警戒区域の視察

震災の発生時間で止まったまま…!



山形市の「まちの保健室」

平成25年10月1日に福島県と委託契約を結び、標記事業に取り組んできました。

山形市避難者交流支援センターと米沢市万世コミュニティーセンターにおいて、11月より月1回の「まちの保健室」を開催してきました。述べ10回の開催で、参加総数172名という状況でした。平成26年度も事業が継続されることから、開催地の拡大や支援者の育成も図っていく計画であります。

また、3月13日(木)には、支援者の育成と避難者の気持ちをより深く理解する目的から、福島県双葉町の住民の一時帰宅に同行させていただきました。協会からの10名と双葉町の住民2名が2台のジャンボタクシーに分乗し、被災地双葉町の様子を目の当たりにしてきました。放射能の警戒区域ですので防護服を着用し、一人ひとり線量計を首にかけての視察でした。被災者は、地震での住まいの破壊、津波での住まいの破壊、放射線による住み慣れた土地からの避難という、三重の苦しみと先の見えない現状にあり、かける言葉は見つかりませんでした。

私たちは、自分にできることは何かを考えて行動しなければということと、お世話くださった双葉町の方の「この現状を多くの方に見てほしい。忘れないでほしい。」という言葉も多くの方に伝える努力をしながら、今後も支援活動を行っていきたいと考えています。(大竹記)



午後3時36分津波襲来時間を示す時計の前で

山形県看護協会 事務局職員の入職のお知らせ

会長補佐として

会長補佐 井上 栄子



この度、会長補佐として勤務することになりました。

看護職の幸福と看護の質の向上に向け、微力でございますが、皆様のお役に立てるように努力してまいります。よろしくお願いいたします。

JIRITUした看護師育成を支援する役割を担って

教育研修課長 新宮 裕子



今年度より教育研修課の仕事をしていただくことになりました。これから益々、保健・医療・福祉のニーズの変化に対応した看護の提供が求められていきます。社会のニーズ、皆様のニーズに対応した教育研修の企画・運営を目指してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

安心を与えられるナースセンター利用促進を

ナースセンター促進事業推進員

井澤 友子



私は求職活動中、同じ看護職の方に相談したいと思う時がありました。そのような時に、ナースセンターの方々に相談出来ると思うと心強く安心感を頂きました。今度は、私が促進員として安心感、心強さを提供できるよう精一杯頑張っていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

推進員として丁寧な対応を

ナースセンター促進事業推進員

安孫子 理花子



4月から、勤務する事になりました。プランクがあり、ナースセンターに相談に来る前は不安でしたが、優しく丁寧な対応で背中を押され心強い気持ちになりました。私も、推進員として、そのような対応や利用者の方に合ったアドバイスが出来るように頑張りますので、宜しくお願い致します。

平成26年2月28日退職者 長谷川晴美 (前ナースセンター担当)

平成26年3月31日退職者 飯澤ひろみ (前教育研修課長) 小谷野和枝 (前ナースセンター促進事業推進員)
橋本 咲子 (前ナースセンター促進事業推進員)

お知らせ

平成26年度「看護職のワーク・ライフ・バランス推進ワークショップ」開催案内と公開講座参加募集のお知らせ

山形県看護協会は、平成25年度より看護職のWLB推進ワークショップ事業を実施し、県内の6病院が参加し取り組んでおります。平成26年度は、新たに2病院が参加し8病院が取り組みます。

1回目のワークショップは、9月11日・12日に開催いたしますのでお知らせいたします。また、ワークショップ1日目の講義については公開講座といたしますので、ぜひご参加ください。

詳細については、後日ご案内の予定です。

参加病院

- 遊佐病院
- 米沢市立病院
- 公立置賜総合病院
- 篠田総合病院
- 公立高島病院
- 鶴岡市立荘内病院
- 北村山公立病院
- 酒田医療センター

平成26年5月17日(土)「看護の日」「看護週間」事業

山形県看護協会 イベント「健康まつり」



モンテディオのディーオくんも遊びに来るよ!
多くの方の来場をお待ちしております。

お知らせ

東西自由通路 アピカ掲示板撤去

平成26年度山形県で大規模なイベントが連続して開催されるため、山形駅東西自由通路の安全性の確保が必要不可欠となり、アピカ掲示板を撤去することとなりました。

なお、今後の自由通路の使用方法について新たな方針が決定次第お知らせいたします。

編集後記

今号は通常総会特集号との合併号となっております。より多くの方に見て頂けるよう、さらなる内容の充実に向けていきたいと考えております。